

ウィッズ KAPD
Weeds

くまもと『障害者』労働センター

1993年6月号



マラソントーク IN 熊本に
参加して

5月16日、熊本市長嶺町にある福祉センターで熊本県で初めて共同連（差別とたたかう共同体）のマラソントークがありました。

当日、名古屋の「わっばの会」の斉藤懸三氏の記念講演があり、共働事業体を作り、各々の小規模作業所を一本化して一つの会社みたいにする、という話しがありました。

午後から、分科会にはいり「自立・生活」に参加してみました。この分科会では、交通アクセス・介護手当等の話しが出てきましたが、交通アクセスでは、大阪や東京、名古屋ではすでにリフトの付いた路線バスが走っていますが、大阪のバスは予約制だそうで予めそのバス会社に電話をして最寄りの停留所から行き先まで予約をしていないと乗れないそうです。何故なら、介護人が必要だからだそうです。考えてみれば、確かにそうですが、それなら常時介護人が乗っていれば、いちいち電話をしなくてもいいのになあ、と思いました。又、介護手当等々の事も聞きましたが、私が知らない事ばかり話しが出てきてとてもよい勉強になりました。

その他、いろんな事を聞きました。そして、去年の共同連全国大会の時知り合った仲間とも会えて久し振りに懐かしかったです。

終りテ～ス。

編集長

ろくかん号

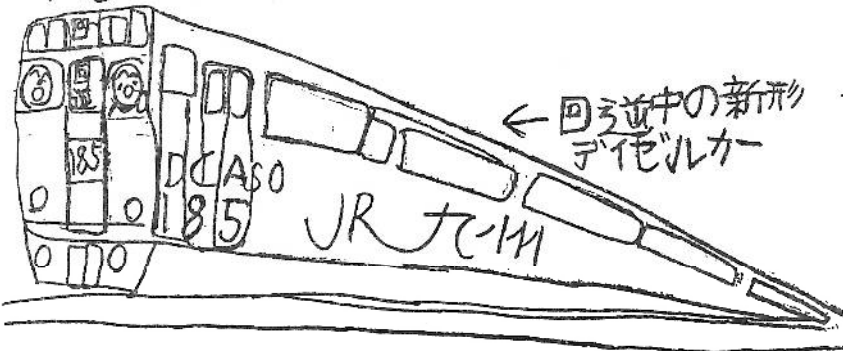
平成5年5月1日発行

TeRuchan CLUB

地球にやさしい運動

今日はテレビをみてえらい人になりたいと思つた。
汽車とぼく

エジソンやアインシュタイン、レオナルド・ダ・ヴィンチが小さい時みんな何かにされた失語症といった内容のテレビく世界まるみえ



今日の俳句: 汽車にのろうか金がな!

おしらせ * * * * *
アルミ缶、ビンなど
地球をクリーンにしよう!
集めたお金でTeRuchan Clubの*
通信費にしたいと思ひます。
とよ * (編集局長)

僕が好き
きたマシ
横山輝一さんの
"Love in you"を
みんなかおうね!
* 横山輝一 *
* 久保輝一 *

TeRuchan Clubは
資金不足!
本当に困っています

●労働センターでお手伝いをしていてる大久保さんの長男
大久保輝一君(長嶺小学校6年生)が制作発行している
「テルチャンクラブ」。電車やバスに詳しい輝君は環境
問題にも関心があるようです。

ありがとう ございました

4月に入り、私は労働センターから約1km離れた所に引っ越ししました。その際、家財道具は殆どなかったのですが、労働センターのボランティアの一人の方があちらこちらから家財道具を貰って頂いて私の部屋まで持ってきてもらいました。そのせいで何となく部屋らしくなりました。その内容は、冷蔵庫、ソファーベット、布団一式、こたつ、その他色々貰いました。又、御家庭内でいらなくなったものは、私「久島雅樹」或いはくまもと障害者労働センターまで宜しく願ひします。
「リサイクル」商品として、有り難く使わせてもらいます。

8・年・目・の・第・一・歩

～県知事表彰をバネに、さらに出会いを求めて～



こんなりっぱな表彰状を
戴きました。

私たちの作業所は、8年前の1985年(昭和60年)に熊本市保田窪で小さな産声をあげました。重度の障害者が3名、「とにかく地域で生きたい!」ただその思いがあるだけで、全くゼロからの出発でした。

まず最初に取り組んだのが、「がんばれ労働センター・長谷川きよしコンサート」でした。この時は大勢の方々に支援されて大成功をおさめることができました。でも、そのあとの作業所づくりは、一步前進、二歩後退といった調子で、「自立するんだ!」という気持ちは強くても、社会的経験がないことを思い知らされました。何度やめようと思ったかわかりません。

でも、今振り返ってみると、粉石けんの販売から始めて、お茶や本の販売、牛乳パックの整理作業、紙すきやリサイクルなど、ほんとうにゆっくりした歩みながら、「自分たちで出来ること」の世界を広げてきました。また、私たちを理解し支援して下さる人々との出会いに、いつも励まされてきました。そして、1991年(平成3年)には、24時間テレビからリフトバスが寄贈されました。また、今年2月25日にはリサイクル推進県民大会において、県知事表彰を受けました。私たちの地道な取り組みが、次第に地域の中で認められるようになったことは大きな喜びです。

この機会に、これまで支援して下さった方々とこの喜びを分かち合い、そしてもっともっと広くたくさんの方々に、障害者の社会参加として、リサイクルにとりくも私たちの姿を知っていただく方法はないものかと考えました。みんなで話し合っ、私たちの大好きな映画をやろうということになり、「ハートフル・ムービー」と題する上映会を企画しました。子供から大人まで幅広く、心に残る映画をと、みんなで知恵をこぼって作品を選びました。

また、映画の合い間には、いろいろなアトラクションも楽しんでいただけると、ワクワク・ドキドキしながら準備しています。

どうか、この趣旨にご賛同いただき、たくさんのご参加をいただきますよう、ご案内申し上げます。

くまもと障害者労働センター

大人も子供も、
車イスの人も
どなたでも、
どうぞお楽しみ下さい。



センター紹介スライド「バック・トゥ・ザ・フューチャー」

「リトル・マーメイド」

クイズ・タイム

休 憩

「暗くなるまで待って」

「異人たちとの夏」

センター紹介スライド「バック・トゥ・ザ・フューチャー」

「^{とっ} ^{かん} 唸 喊」

辻 昭さんの映画小話

(辻 昭二郎氏:熊本市映画協会事務局長、熊本映画文化史講師)

「コルチャック先生」

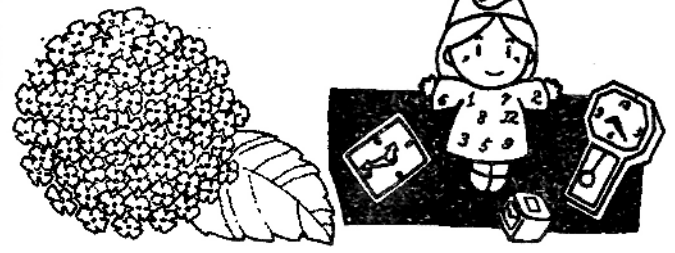
いっぱい観たで賞・表彰

5月のパック回収から

4月29日	山ノ内小	6.9 kg
5月6日	M丸養小	23.5 kg
10日	九松橋小	27.7 kg
12日	高森通小	5.3 kg
14日	全高小	5.8 kg
15日	清健小	8.4 kg
17日	春野小	10.5 kg
18日	松岡小	10.5 kg
19日	尾山小	106.6 kg
20日	ふたつ小	45.3 kg
21日	立山小	58.1 kg
22日	南合小	128.9 kg
24日	山月小	30.3 kg
25日	山月小	2.8 kg
28日	熊池小	1.5 kg
29日	託小	27.2 kg
31日	託小	8.5 kg

5月の日報から

5月6日	1日	休
7日	2日	連
8日	3日	日
10日	4日	5日
12日	6日	6日
13日	7日	7日
14日	8日	8日
15日	9日	9日
16日	10日	10日
18日	11日	11日
20日	12日	12日
21日	13日	13日
24日	14日	14日
25日	15日	15日
26日	16日	16日
27日	17日	17日



皆さんにはご幸甚のことと存じます。いつも牛乳パックの持ち込みセンターで取り扱っている品物をご購入頂き誠に有難うございます。さて、労働センターでは、皆さんの原稿をお待ちしております。何でも結構です。またお気付きの事がありましたらご一報下さい。

〒862
 熊本県熊本市保田窪本町5-29
 くまもと障害者労働センター
 TEL・FAX共通
 096-382-0861
 編集長 久島 雅樹

一九八〇年五月十三日第三種郵便物認可(毎月三回一・五・十の日発行) 発行一九九三年六月五日(定価五〇円)
 KAPD 通巻一九八号 発行人 熊本県身体障害者団体定期刊行物協会 熊本市国府三丁目二一八九(友村方)